



「新たな躍動」

校長 藤田 賢一郎

3月7日に「卒業式」を挙行了しました。コロナウイルスに屈することなく、素晴らしい成果を上げた卒業生に、はなむけの言葉を贈りました。

新たな躍動が輝き出す春。卒業を迎えた六八名の卒業生の皆さんの表情も、輝きに満ちています。

この佳き日に、上越市立板倉中学校第七六回卒業式を挙行できますことを式場の皆様とともに喜び、これまで卒業生を支えてくださり、本日は各所で卒業を祝ってくださっている多くの方々に、感謝の意を表したいと存じます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠にありがとうございます。今日まで慈しみ、深い愛情を注がれたお子様の義務教育終了に、感慨もひとしおかと存じます。教職員一同、心からお祝い申し上げます。

さて、九か年の義務教育を終え、巣立ち行く卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。今、皆さんが手にした卒業証書は、中学校の三か年を、あなたらしく輝いた確かな証です。成長の歩みとかげがえのない思い出が詰まった卒業証書の重みをしっかりと受け止め、卒業の喜びをかみしめてください。

三年前を振り返れば、入学の日、皆さんはマスクを着けて入学式に臨みました。けれども、瞳はきらきらと輝き、その輝きからマスクの下の豊かな表情を想像することができました。皆さんの輝きに感心し、すばらしい新入生だと思ったことを、今でも鮮明に覚えています。

そして、皆さんは、入学から今日まで、コロナ禍で活動が制限されても決して屈することなく、一人一人が現状の中での最高の輝きを求めて、輝き続けました。学習や諸活動、学校行事や地域貢献活動などに意欲的に取り組み、すばらしい成果をあげてきました。今年度、最上級生として堂々と下級生をリードするその姿は、いつも下級生のあこがれであり、私たち板倉中職員の誇りでした。

私は、皆さんの姿に野球の大谷翔平選手の少年時代の姿を重ね、皆さんの輝く未来を確信します。アメリカ大リーグでの活躍で、世界中に「二刀流」の言葉を浸透させた大谷選手ですが、大活躍までの道のりは決して順風満帆ではありませんでした。

大谷少年は小学校6年生のとき、夢だったリトルリーグ全国大会への出場を逃します。さぞや悔しかったことでしょう。しかし、その悔しさを「来年は絶対に全国大会に行ってやる」との強い意志に変えて、家の中でもずっとボ

ールとバットを握っていたそうです。見事、中学1年生で全国大会出場を果たした大谷少年は、作文に「悔しい経験がないと、嬉しい経験もない」と綴ったそうです。高校に進学したときの「人生の目標シート」には、「人生が夢を作るんじゃない。夢が人生をつくるんだ」と書いています。

このような経験が、プロ野球選手になってからの彼を支えます。

大谷選手は、人生の決断をして渡米した年に米大リーグで新人王に輝きますが、右肘の靭帯に損傷が判明して大きな手術を受け、一年以上のリハビリが必要と告げられます。この苦境の中でも、大谷選手は今できることを誠実にやり抜き、一年後マウンドに復帰します。

世界的な大スターとなった今も、変わらずに野球場に落ちているごみを拾う大谷選手の姿に、人々は胸をうたれます。大谷選手が、自分の可能性を信じて、いかなる状況にあっても屈することなく、夢に向かう姿に、自分を支えてくれる人や球場への感謝を忘れない姿に、感動が深まります。

そんな大谷選手の姿に、卒業生の皆さんのこれまでの姿、これからの姿が重なるのです。

コロナ禍、いかなる状況にあっても屈することなく、あなたらしい良さを発揮しながら最高の輝きを目指し続けたみなさん、そして、感謝の気持ちを忘れなかった皆さん。みなさんはこの三年間で、何回の「ありがとう」を口にしたことでしょう。友達、家族や地域の皆様、私たち教職員、自分を支えてくれる人に、皆さんはいつも感謝の気持ちを伝えていました。そんな素晴らしい輝きを残してきたみなさんですから、きっと大谷選手のように、夢が人生をつくる、輝く未来を歩むはずです。自分の可能性に限りをつけるのは他人ではなく自分自身です。もう駄目だと屈しない限り、みなさんの可能性は無限です。どうぞ自信をもって、学び舎板倉中学校を巣立ってください。みなさんの新たな輝きをいつまでも、応援しています。

結びに、板倉中学校を愛し抜き、輝く伝統を後輩に引き継いでくれる卒業生の皆さんに、改めて感謝の気持ちと、はなむけの言葉を伝えて、式辞といたします。

卒業生の皆さん、ありがとう。さあ、夢が人生をつくる、あなたの輝く未来へ。

令和4年度も、無事に卒業式を迎えることができました。保護者、地域の皆様のご支援に、心から感謝申し上げます。

《 2月～3月のおもな出来事 》

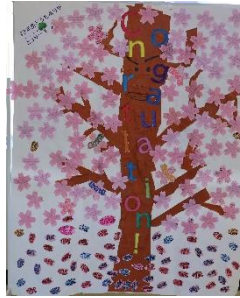
第76回板倉中学校卒業式～64名の旅立ちの日～

3月6日(月)、生徒の門出を祝福するような青空の下、第76回卒業式が行われました。在校生・保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様、教職員に見守られながら、堂々とした態度で卒業証書を受け取る様子は、さすが卒業生という立派な姿でした。3人の代表による答辞では、コロナ禍の中で始まった中学校生活に不安を感じながらも、仲間と助け合いともに成長してきた思い出や、保護者・地域の皆様や職員に支えられた日々への感謝、そして何より一緒に3年間過ごした仲間への熱い思いが語られました。3人の言葉に、感極まって涙する卒業生の姿もありました。卒業合唱は「3月9日」。美しい高音の女声パートと豊かに響かせた男声パートが見事に調和し、感動的な合唱を聞かせてくれました。今まで見守り、支援して下さった保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



今までありがとうございました。

1年生、2年生は、2月の中頃から、3年生への感謝の気持ちを表そうと、廊下や階段の飾りつけやメッセージ掲示など色々な活動を行ってきました。当日の準備・後片付けを率先して行う姿にも、厳肅な態度で臨む姿や大きな拍手にも、3年生への感謝の気持ちがあふれていました。



2年生修学旅行 主人公59人の旅～最高の物語を作ってきました～



3月8日・9日・10日の3日間、2年生は奈良・京都の修学旅行へ行ってきました。晴天と暖かな陽気に恵まれ、一足早く春を満喫することができました。奈良では東大寺大仏の大きさに圧倒され、かわいい鹿とたわむれてきました。9日の班別自主研修では、仲間と協力し、京都の伝統文化と京都の方々の優しさに触れました。間違ったバスに乗って、困ったこともいい経験です。3日目はクラスごとにバスに乗り、伏見稻荷神社や清水寺を回りました。お家へのお土産をたくさん抱えた生徒たちは、とてもうれしそうでした。どの生徒も、ルールとマナーを守り、立派な態度で修学旅行を終えることができました。来年度、3年生として板倉中を引っ張っていく心の準備は少しずつできています。



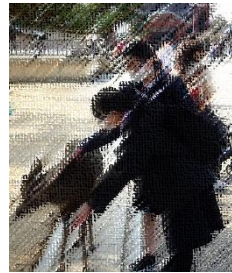
2-1 TK

私は実行委員長として班の決定からルール作りなど、事前学習から力を入れることができました。修学旅行を通して、間違いや問題があっても自分たちで解決したり、考えて行動できたりしたと思います。



2-2 MK

2日目の班別自主研修で事前に計画を立てたはずでしたが、思い通りにいきませんでした。でも、班の人と協力して無事に金閣寺や南禅寺などを見学することができました。そして、実行委員として、しおりの読み合わせや準備などを頑張り、当日も係の仕事をきちんとすることができました。思い出に残る3日間になりました。



校内ミュージアム整備～ 絵画・彫金を寄贈していただき、さらに充実してきました

今年度『板倉中学☆校内ミュージアム』の整備を着々と進めてきました。3月3日(金)の上越タイムスに掲載していただいたように、地元の方、有名作家の作品やレプリカを校内のいたるところに展示しています。展示作品の説明や展示場所をわかりやすくするため、生活文化部生徒の協力で、イラスト入りのおしゃれな「パンフレット」を作成しました。ご来校の折に見ていただけたらと考えています。

また、学校運営協議会委員の川上優子様から「笛吹童子」の彫金、当校の美術担当の坪井講師からパステル画を寄贈していただきました。準備ができ次第、校内に展示させていただきます。ありがとうございました。



栄光の記録！

【 上越ジュニアオープンバドミントン大会 】

中学生男子 3位トーナメント 2位 SR (2年) 3位 FH (1年)

中学生女子 3位トーナメント 3位 IA (1年)

3月～4月のおもな予定

※ 予定は変更することがあります。あらかじめご了承ください。

3月 27日	(月)	離任式
29日	(水)	生徒会リーダー研修会
4月 5日	(水)	新2・3年生クラス発表 (8:30～ 9:00) 新入生クラス発表 (9:30～10:00)
10日	(月)	1年生 知能検査 全校発育測定
11日	(火)	生徒会入会式 1・3年生聴力検査 1年生部活動見学 PTA 役員会・総務委員会(18:30～)
12日	(水)	NRT(標準学力検査)国・数・英
13日	(木)	NRT(標準学力検査)社・理 1年生自転車安全教室
18日	(火)	3年生(全国学力学習状況調査:国・数・英)
19日	(水)	眼科検診(13:45～)
20日	(木)	全国朝会 いなほタイム
25日	(火)	生徒朝会 PTA 総会
26日	(水)	内科検診 1年生部活動正式入部
27日	(木)	教育実習オリエンテーション
28日	(金)	生徒総会

